

# 地域学校協働活動

～学校を核とした地域づくりをめざして～



県立米子高校



伯耆町



南部町



倉吉市

地域が元気に!

学校が元気に!

あなたの大切にしたい  
言葉をいれてください

創造

夢

つながり



境港市

# コミュニティ・スクール

(学校運営協議会制度)

～地域とともにある学校づくりをめざして～



鳥取市



鳥取市



日野町

菜の花プロジェクト  
(倉吉市)

鳥取県教育委員会事務局小中学校課・社会教育課

〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目271番地 TEL 0857-26-7521 / 7520 FAX 0857-26-8170 / 8175  
<https://www.pref.tottori.lg.jp/shouchuugakkouka/>

鳥取県 コミュニティ・スクール

検索



鳥取県教育委員会  
令和元年 11 月

## コミュニティ・スクール(学校運営協議会)について

■複雑化・多様化している学校現場の課題等を解決し、未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、**社会総がかりで教育の実現を図っていくことが重要**です。

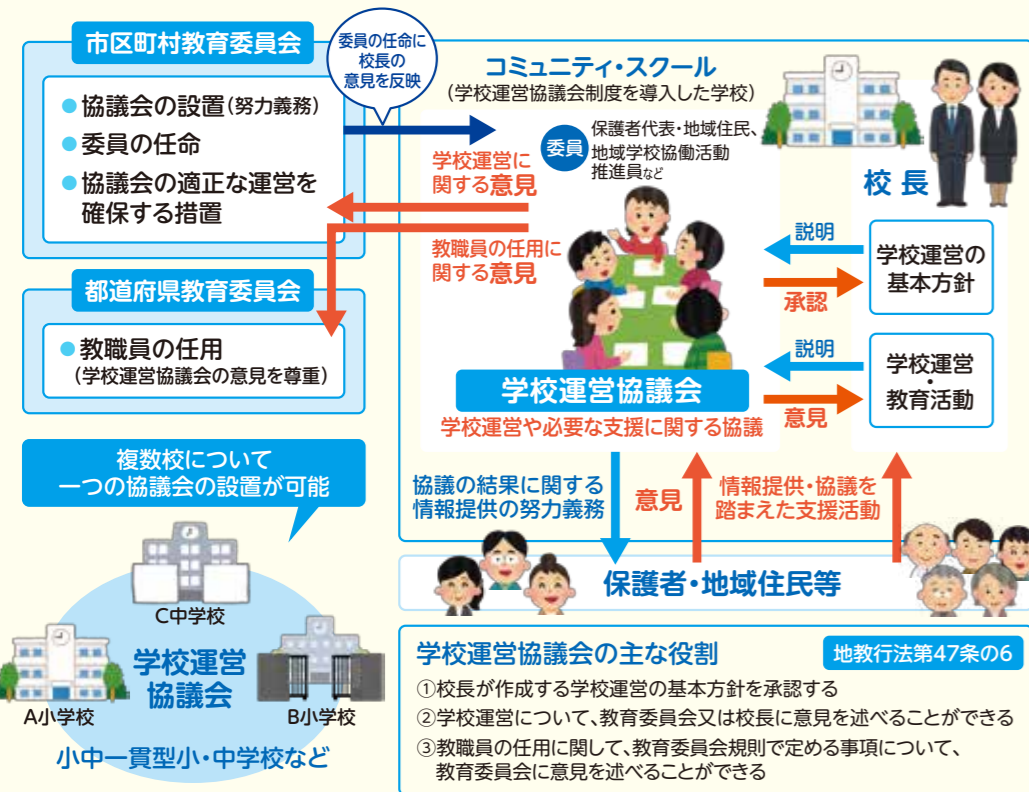
■学校と地域がパートナーとして**連携・協働による取組**を進めていくためには、学校と地域住民等が「地域でどのような子どもたちを育てるのか」を議論し、**目標やビジョンの共有**することが大切です。

■コミュニティスクール(学校運営協議会制度)は、学校と地域住民等が力を合わせて

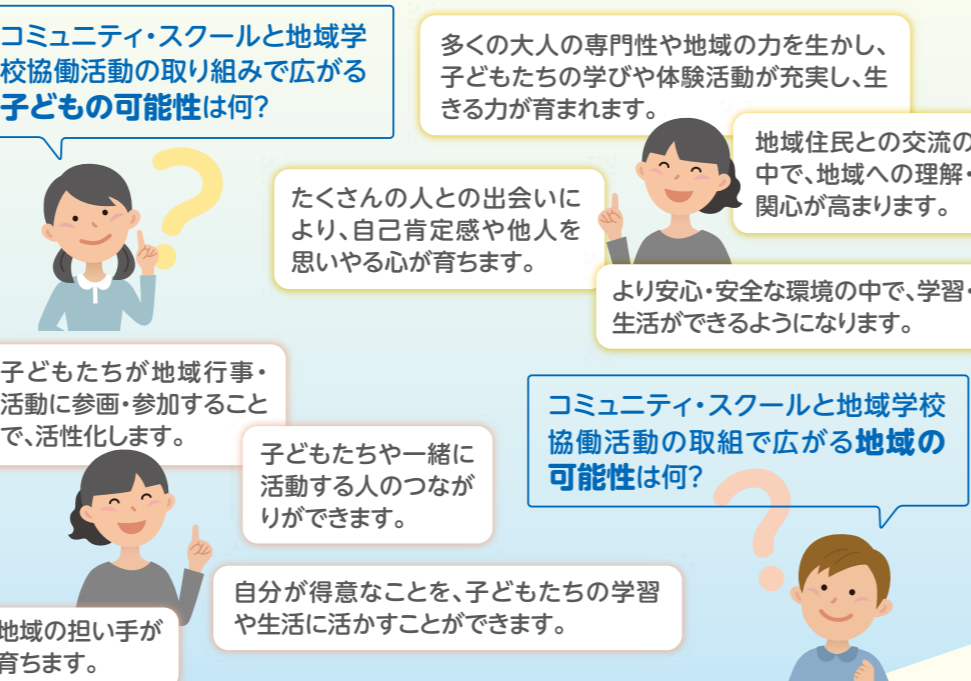
学校の運営に取り組むことが可能となる「**地域とともにある学校づくり**」への転換を図るための有効な仕組みです。

■学校運営協議会が設置された学校では、学校や子どもたちの教育に対する保護者・地域住民等の理解が深まり、相互に連携・協働する場面が増えています。また、教育課程の充実につながる効果的な地域連携の取組が増えるなど、学校運営の改善にも大きな効果がみられます。

## コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組み



## コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の仕組みをいかして、「地域とともにある学校づくり」を推進中!! 学校・家庭・地域で鳥取の子どもを育てましょう!!



## ふるさとキャリア教育を推進します!!



## 現状

鳥取県の公立小中学校の95校(54%)が、県立高校1校(4%)、県立特別支援学校3校(38%)がコミュニティ・スクールです。  
※令和元年度5月1日現在

- 鳥取県内のコミュニティ・スクール(CS)は年々**増加**している。
- 「地域と学校が情報を共有するようになった。」と回答した学校が約94%。
- 「地域と学校が連携した取組を組織的に行えるようになった。」と回答した学校が約75%。
- 「子どもの安全・安心な環境が確保された。」と回答した学校が49%。
- 「管理職や教職員の勤務負担が増える。」と回答した学校が**約75%より約40%に減少**した。

## ~鳥取県では、すべての公立学校へのコミュニティ・スクール導入を目指しています~ 鳥取県の「地域とともにある学校づくり」

「地域とともにある学校づくり」の更なる推進に向けて、学校運営協議会と地域学校協働活動が一体的に進められ、機能することが求められています。



## 熟議

関係者がみな当事者意識を持ち、子どもたちがどのような課題を抱えているのかという実態を共有するとともに、地域でどのような子供を育てていくのか、何を実現していくのかという目標・ビジョンを共有するために「**熟議(熟慮と議論)**」を重ねることが大切です。

## 協働

学校と地域の信頼関係の基礎を構築した上で、学校運営に地域の人々が「**参画**」し、共有した目標に向かってともに「**協働**」して活動していくことが大切です。

## マネジメント力

その中核となる学校は、校長のリーダーシップのもと教職員全体がチームとして力を発揮できるよう、組織としての「**マネジメント力**」を強化していくことが大切です。

## 「地域とともにある学校づくり」を推進するための大切な視点

- 1 関係者が当事者意識をもって「**熟議**」を重ねること。
- 2 学校と地域の人々が「**協働**」して活動すること。
- 3 学校が組織として力を発揮するための「**マネジメント力**」を強化すること。

## check あなたの学校は、コミュニティ・スクールとしてどのような状況ですか…?

- その連携は、「学校支援」にとどまっていますか?
- その連携は、「十分に意見をもらっている」ではありませんか?
- その連携は、「目標を共有」して取組が行われていますか?
- その連携は、様々な学校課題にも対応できる連携ですか?
- その連携は、人が入れ替わっても持続可能な仕組みですか?
- その連携により、人々の「当事者」意識は高まっていますか?
- 何か問題が発生したとき、保護者や地域住民は学校の味方、代弁者となってくれますか?
- その連携は、未来の学校の姿を見据えたものですか?

## 地域の人々と関わりながら 自立と社会参加に向けて努力する子どもの育成

### 鳥取県立白兔養護学校

#### 取組の目的・概要

障がいのある児童生徒の人と関わる力の育成や自立し社会参加できる環境づくりのためには、様々な機関との連携が必要である。

特別支援学校においては、通学範囲が広範囲であることから、「学校と関わりのある皆様(末恒地区及び関係諸機関)」を「地域」と位置づけ、モデル校として学校運営協議会の取組をスタートした。

#### 特徴的な活動・運営体制・実施にあたっての工夫

学校運営協議会では、地域、福祉施設、保護者、就労関係等、現在から将来も含め生活について意見をいただける方に委員になっていただいた。また、管理職だけでなく各学部主事及び事務長も委員となっている。

これまで積み上げてきた地域の方との交流活動を中心に据え、児童生徒の実態を考慮し計画・活動するようにしている。

#### 取組の成果

- 地域(公民館の方)に相談する中でいろいろなアイデア・アドバイスをいただき、地域と関わる学習が広がっている。
- 教職員も意識的に地域の人々と関わる学習を取り入れるよう工夫し授業力の向上につながっている。



公民館の玄関に作品を展示し、販売日を宣伝

#### 課題と今後の方向性

- コミュニティ・スクールの取組について、地域の人々・保護者を含め多くの方に知っていただくことが必要である。
- 自然環境等学校の特色を生かした取組を充実する。
- 校内でも学習や場の工夫をしながら、地域との関わりを広げる方策を拡大する。

## 「心豊かにたくましく羽ばたく日野の子の育成」

### 日野中学校区学校運営協議会

#### 取組の目的・概要

地域住民等の学校運営への参画、学校運営への支援・協力をとおして、「地域とともにある学校づくり」を進める。

#### 特徴的な活動・運営体制・実施にあたっての工夫

##### 中学校区で1つの協議会を設置

中学校区で1つ(町内に1つ)の協議会を設置することにより、中学校区(全町)で目標や取組を共有し、共通実践をする。

##### 保育士と日野高校教員を協議会委員に

保育所や高校からの意見を取り入れ、0歳から18歳までを見通した取組を考える。

##### 事務主幹(学校事務の共同実施統括者)を事務局に

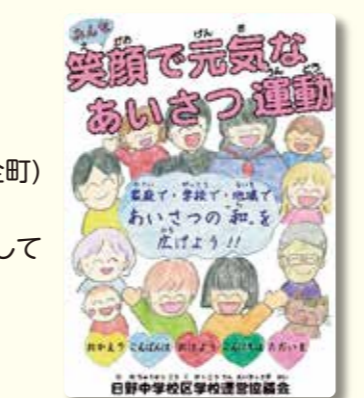
事務職員を事務局の一員とすることで、学校経営の視点からのCSのあり方について提起する。

#### 取組の成果

- 日野町の児童生徒の課題を共有し、中学校区(全町)での取組につなぐことができた。
- 熟議を重ねることにより、取組を具体的に提起していくことができています。

#### 課題と今後の方向性

- 課題と今後の方向性・個々の学校の課題であっても、日野町の子どものための育成という視点から、本協議会で議論していきたい。
- 町内の県立高校との連携した取り組みについても、推進していきたい。



- ①「地域・郷土を愛し、誇りに思う子ども」
  - ②「気持ちや心(内面)の強さと豊かさを持った子ども」
  - ③「自ら行動・表現する子ども」
- を学校・家庭・地域が一体となって育てよう。

### 境港市 第一中学校区(第一中学校・境小学校・上道小学校)

#### 取組の概要

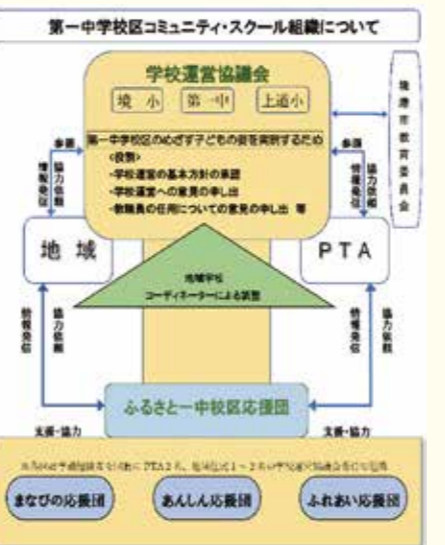
境港市では、将来の小中一貫教育を視野に入れ、9年間を見通した学校・家庭・地域が「めざす子どもの姿」の実現に向けて、中学校区を単位とした学校運営協議会組織を2年間の準備期間を経て、今年度、導入した。

#### 特徴的な活動

20名の学校運営協議会委員および、地域で子どもたちを支え、育てる活動を展開している方々の協力のもとに、「まなびの応援団」「あしん応援団」「ふれあい応援団」の3つの部会で構成する「ふるさと一中校区応援団(地域学校協働本部)」と連携・協働し、「子どもたちの学びの質の向上」と「地域づくり」を展開しようと考えてる。①背伸びをせず②できることから③長く続けていくために④活動を通して、顔と顔の見える関係づくりをめざしている。

#### 取組の今後の方向性

コミュニティ・スクールは、地域学校協働活動とともに子どもたちを支え育てるための取組として、社会総がかりで取り組まなくてはならない。まだ、導入して半年余りの期間しかたっており、今後、地域学校協働活動を展開している団体等との関係を含め、保護者・地域住民に対して、理解・啓発をいかに展開していくかが大きな課題となっている。



## 「『地域とともにある学校づくり』をめざして」

### 湯梨浜町教育委員会

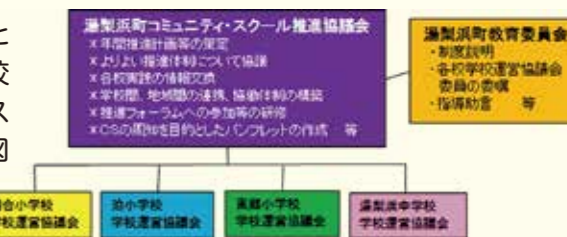
#### 取組の目的・概要

学校・家庭・地域が一体となってよりよい教育の実現に取り組むため、昨年度より各校に「学校運営協議会」を設置し、委員に任命された保護者や地域住民等が一定の権限を持って学校運営に参画する仕組みづくりを推進している。



#### 運営体制について

各校「学校運営協議会」の設置とともに、各学校運営協議会長、学校長等を委員とする「コミュニティ・スクール推進協議会」を設置し、右図にある活動を実施している。



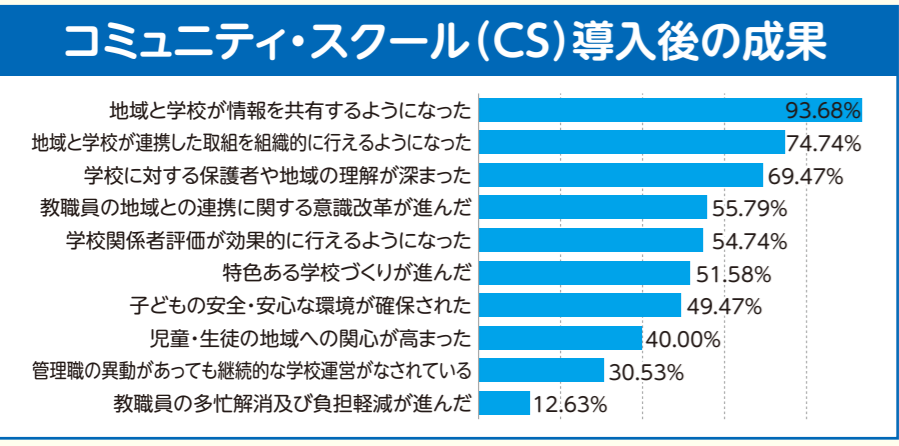
#### 取組の成果

- 学校と地域がより身近になり、気軽に意見交換、連携しやすい体制ができた。
- さまざまな協議等をおし、学校と地域、双方向での理解が深まりつつある。
- 既存の活動や組織を生かして活動を推進し、各校で少しずつ持続可能な活動体制が生まれつつある。

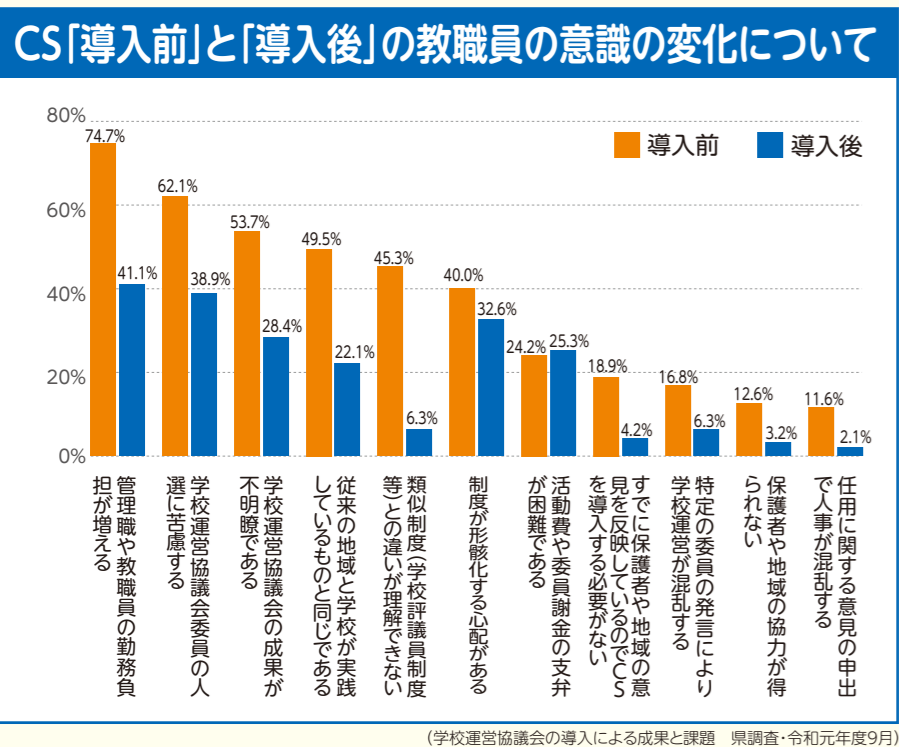


#### 課題と今後の方向性

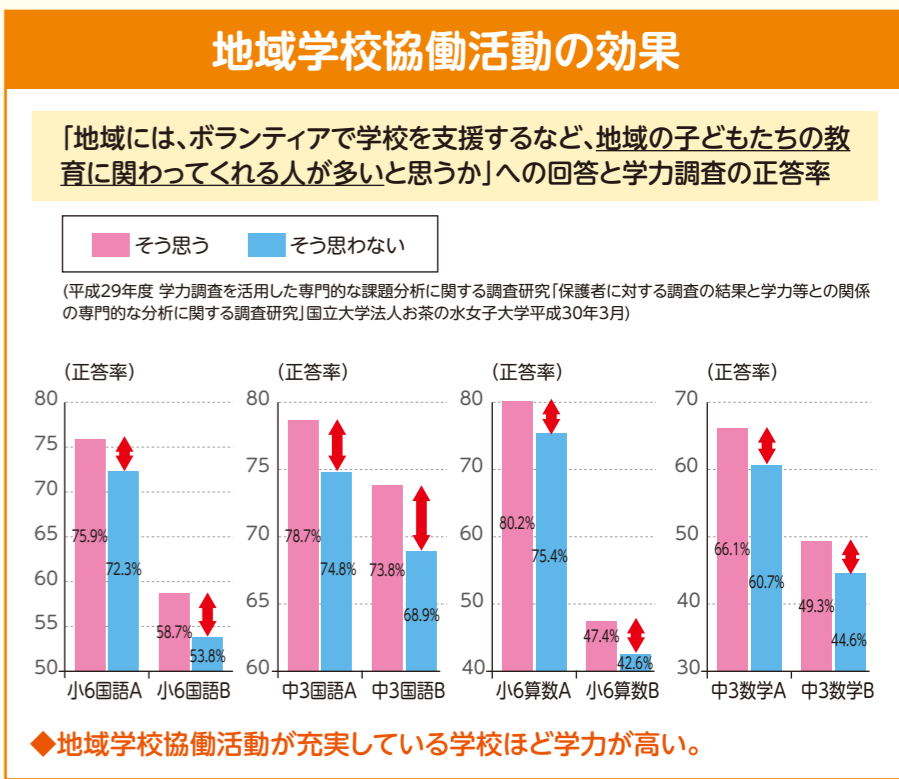
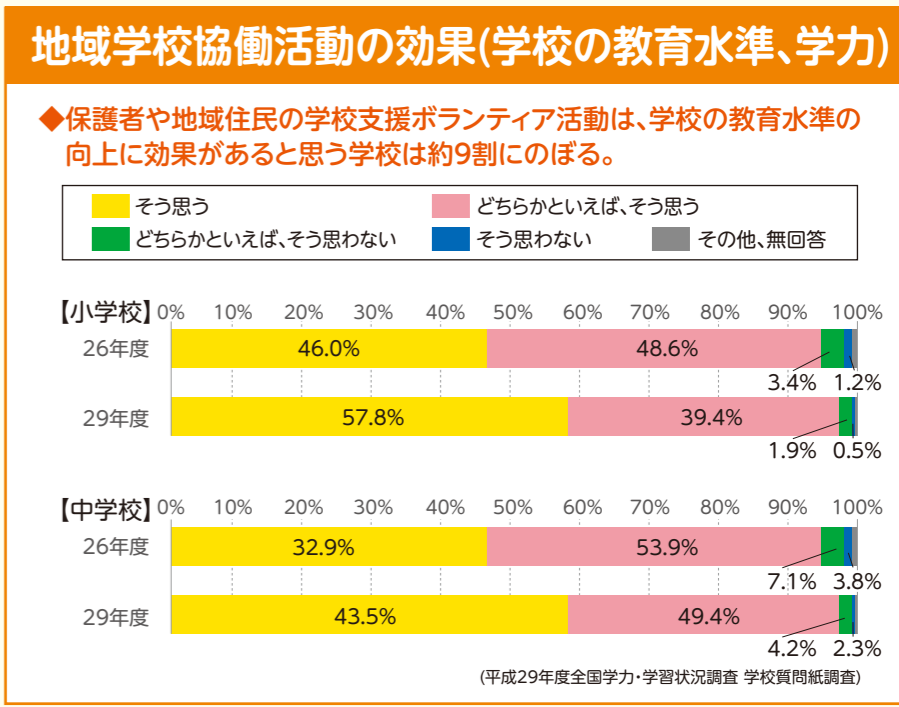
- 学校・家庭・地域が協働し、各校の特色を生かしながら取り組める持続可能な推進体制を固めていきたい。
- 活動の理解者を地域に広げ、一部の活動ではなく、保護者、地域を巻き込んでいく仕掛けや仕組みの構築が必要である。
- 義務教育9年間を見通した、各学校運営協議会間の連携の在り方について検討していきたい。



- ### 【CS導入に対する意見】
- 地域の方々による学習支援が子どもたちの学習意欲を向上させている。
  - 地域の方と子どもたちの顔がつながった。
  - 地域の方と学校や保護者の課題を共有することができた。
  - 地域の方々の学習支援により子どもたちの体験学習が増えてきた。
  - 公民館職員の来校、子どもたちの公民館訪問など公民館との交流が増えた。
  - 地域の方々に学校環境整備を行っていただくことで教職員の負担軽減につながった。



## 「地域とともにある学校づくり」をめざした「学校」と「地域」の連携・協働のイメージ図



## 「地域の人材やアイデアを活かした特色ある学校づくり」

### 鳥取県立米子高等学校

#### 取組の目的・概要

米子高等学校は平成29年度、「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰を受賞。地域探究活動である「米×米プロジェクト」をはじめとした地域と連携・協働した多くの教育活動の発展・拡充を図り、学校の特色化を推進する。

#### 特徴的な活動・運営体制・実施にあたっての工夫

「米×米プロジェクト」…「総合的な学習の時間」における「米子市中心市街地活性化基本計画」を考えるグループ活動

#### 米子駅等へのプランター提供、花壇用草花植栽活動

…農業科目選択者による地域貢献活動

#### 中学校連携高校入試面接出前授業

…進路決定した3年次生が中学生を指導

★この他、ダンス部、吹奏楽部、美術部、UTA同好会、書道同好会など、部活動による地域貢献活動も活発に展開されており、多くの生徒が地域の方々との交流を深めている。



「米×米」フィールドワーク



草花植栽活動

感謝状の贈呈



(左:JR米子駅 右:米子市文化ホール)

#### 取組の成果

- 地域をフィールドにした学習や地域の多くの方々との交流は生徒の地域への愛着を深めるとともに、地域課題を自らの問題として受け止める姿勢に繋がっている。
- 地域のニーズに応じた地域貢献活動は、地域から高い賞賛を受けており、これらの評価は生徒の地域貢献意欲を高め、日々の学習姿勢や進路実績に大きな影響をもたらしている。

#### 課題と今後の方向性

米子高等学校における地域連携・協働活動は多岐に渡っており、これらの活動に係る地域人材をいかに確保し、地域との連携・協力体制を持続させていくかが課題であり、コミュニティ・スクールの取り組みを十分に生かして課題解決を図っていききたい。

## 「人づくりの循環」をより確かなものに

### 南部町教育委員会

#### 取組の目的・概要

平成18年度より「新しい学校づくり(学校改革)」のため、コミュニティ・スクール制度を段階的に導入し、平成28年度に町内のすべての学校において導入となった。コミュニティ・スクールを基盤とする地域とともに歩む学校教育の推進により、「まち未来科」の学びが生まれ、それが「高校生サークル」「新☆青年団」にひきつがれた。『コミュニティ・スクール育ち』が、人づくり・まちづくりの一翼を担い始めた。

#### 特徴的な活動

#### 「まち未来科」の学び

- 未来を生き抜くために、ふるさと愛着力・社会参画力・将来設計力・人間関係調整力の4つの力を育むことをめざす
- 上記4つの力を育むために「まち未来科」を創設
- 年長から中3までの10年カリキュラムに発展

#### 高校生サークルの誕生と青年団の復活

- 中学3年生までに培った自己肯定感やふるさと愛着力などを活用して、1人でも多くの人と出会い、1つでも多くの体験をし、1つでも多くの感動を味わって、さらに南部町プライドをふくらませ、より幸せな生き方を見つけていくための活動
- 地域行事への参画意識の高まり



みんなで南部町の未来を語らいや

#### 今後の方向性

学校改革をめざして取り組み始めたものが、人づくり・まちづくりへと可能性を拡げたコミュニティ・スクール。今後、0歳から18歳を視野に、学校教育と社会教育が融合しながら、町民総ぐるみで取り組む人づくりを循環させていきたい。

## 「校区别生徒会を通じた地域貢献活動」

### 鳥取市立桜ヶ丘中学校

#### 取組の目的・概要

小学校区ごとの「校区别生徒会」を設け、生徒が地域に出かけ地域の方々とともに活動する主体的な生徒(会)活動を推進する。

学校での教育活動と地域活動をつなげ、よりよい社会づくりへの発展を目指す。

#### 特徴的な活動・運営体制・実施にあたっての工夫

PTA地区長を中心に地区の予定や催しへのボランティア募集を行い、自治会長や公民館長が来校し、生徒に向けて話をしている。

この集会を通じ、多くの生徒が様々な地域行事へ参画し地域の方々と共に活動している。



【自治会との意見交換】



【地域の運動会への参画】



【地域の資源回収に参加】

#### 取組の成果

中学生が地域活動に参加することで、地域が盛り上がり、地域の方からも「中学生がとてもよく動いてくれる」「中学生が手伝ってくれて本当に助かります」といった感謝の声が届いている。

生徒自身も地域の一員であることの自覚が芽生え、地域貢献への意識が高まっている。

#### 課題と今後の方向性

活動の実践に加え、校区别生徒会での振り返りや各校区での取組の共有等を通じて、生徒自身が地域における自らの役割を見つけ、地域の一員としての自覚を持つことで自己肯定感を高め、さらなる取組の充実を図っていききたい。

## 「学園と地域の協働による防災体制づくり」

### 鳥取市立湖南学園

#### 取組の目的・概要

学校運営協議会で今年度のテーマとなった「子どもの安心・安全」について、地域学校協働本部で取組を協議し、学校と地域が協働して災害時の対応にあたるための体制づくりを進めている。

#### 特徴的な活動・運営体制・実施にあたっての工夫

昨年発生した西日本豪雨時の学校の対応を振り返る机上訓練や、地震・台風・大雪などを想定した児童生徒の登下校時の安全確保について、学校・家庭・地域が通学路や各集落の状況について情報共有を図るための連絡体制の構築に向けた協議を開催。



※地域の自主防災・災害対策本部関係者、安心安全ボランティア、学校運営協議会・地域学校協働本部代表者が参加。

#### 取組の効果・成果

学校だけでなく地域にとっても課題となる防災対応について、教職員・保護者・地域関係者(=大人)の学びを通じて、子どもの安全確保や地域組織との連携体制を構築するうえでの課題が見えてきた。

#### 課題と今後の方向性

学校・地域それぞれが持つ既存の組織体制などの仕組みをうまく連携させること、また、こうした取組の様子や成果を、学校や関わった委員だけでなく、地域や保護者全体へ広げていく必要があると考えており、地域学校協働本部による広報(壁新聞など)の充実、強化を図っていききたい。

## 「安心・安全な居場所づくりと心豊かなたくましい子どもの育成」



### 伯耆町放課後子供教室

#### 取組の目的・概要

放課後の子ども達の安全・安心な居場所をつくり、学びやスポーツ・文化活動等を提供し、異年齢や地域の大人との交流を通じて、地域の中で心豊かなたくましい子どもを育む。

#### 特徴的な活動・運営体制・実施にあたっての工夫

場 所…岸本小学校と溝口小学校

開催日と時間

各校とも課業日の週3日15:00又は16:00～17:00

活動内容

学習、読書、読み聞かせ、工作、体験活動、体力づくり等

特徴・工夫等

- 児童クラブ在籍の希望者を含めたすべての児童が放課後子供教室に希望参加できる一体型運営を行う。
- 地域学校協働本部実行委員会に放課後子供教室運営委員会を設け組織的に課題解決できるよう配慮。
- 体力づくりは町内スポーツクラブに業務委託し専門性と楽しさを追及。
- 放課後子供教室の約束の提示と共有
- 危機管理マニュアルの共通理解と改善

#### 取組の効果・成果

放課後子供教室運営委員会の開催により取組の改善・工夫が進んだ。



#### 課題と今後の方向性

より持続可能で豊かな体験・活動とするための協議の充実を図るとともに、指導者の人材育成と活動内容の工夫をしていきたい。

## 「菜の花プロジェクト」 ～ふるさとへの愛着と誇りを持つ子どもの育成～

### 倉吉市小・中学校

#### 取組の目的

「菜の花プロジェクト」に児童生徒と地域が協働して取り組むことにより、本市に愛着と誇りを持ち、共にまちづくりに貢献していこうとする態度を養う。

#### 特徴的な活動・運営体制・実施にあたっての工夫

#### (5月)小・中学生淀屋サミット

「倉吉のために自分達ができること」

各小・中学校代表者と地域学校委員会(CS)代表者による話し合い

→「菜の花プロジェクト」の取組の決定

#### (6月～10月)各学校・地域での取組

各小・中学校	・公民館等へ協力依頼 ・地域へのチラシ配布 ・全校児童生徒へ呼び掛け ・保育園への呼びかけ ・種子のプレゼント等	連携 協働	地域	・地域学校委員会での話し合い ・地域の協力者の募集 ・草刈り、畝作り ・種まき指導等



#### 取組の効果・成果

- 各学校の児童生徒と地域や関係機関の方が連携・協働しながら取り組んでいる。
- 菜の花の種を植える活動だけでなく、清掃活動などにも取り組み、活動に広がりが出てきている。
- 倉吉をよくするための活動を通して、保育園・幼稚園や小・中学校、地域の関わりが深まってきている。

#### 課題と今後の方向性

取組の趣旨を広く周知し、より多くの人に理解してもらうことで、さらに取組の輪を広げていきたい。

## 鳥取県地域コーディネーター養成講座



学校と地域との連携・協働を促進するとともに、地域づくりを進めるためのコーディネートを行うことのできる人材を育成するため、社会教育及び地域学校協働活動に関する基礎的知識やコーディネートに必要な知識・技能を習得する講座を令和元年度より開催しています。全日程の講習受講者を「鳥取県地域コーディネーター」に認定します。各地域で学校と地域をつなぐコーディネーターとしての活躍をいただくことを期待しています。

#### 研修日程(全4日間)

- 《第1回》【基礎編Ⅰ：社会教育の理解】
- 《第2回》【基礎編Ⅱ：学校と地域の連携・協働】
- 《第3回》【実践編Ⅰ：コーディネートの実際Ⅰ】
- 《第4回》【実践編Ⅱ：コーディネートの実際Ⅱ】

#### 第1回 【基礎編Ⅰ「社会教育の理解」】

令和元年 8月27日



【講義】「これからの学校と地域の連携・協働の在り方について」  
文部科学省 西 祐樹氏



【講義】「これからの社会教育のかたち」  
全国社会教育委員連合 馬場祐次朗氏

#### 第2回 【基礎編Ⅱ「学校と地域の連携・協働」】

令和元年 9月19日



【講義】「社会教育と学校教育が協働した地域づくり・人づくり」  
岡山大学大学院 熊谷慎之輔氏



【シンポジウム】～事例発表～  
栃木市教育委員会 早乙女 豊氏  
伯耆町教育委員会 伊藤 静也氏

#### 受講者の声

- ◆ 地域コーディネーターの役割・必要性が理解できた。社会教育と生涯学習との違い、社会教育とは人づくりであることが分かった。
- ◆ 学校・家庭・地域のつながりの大切さ、その協働の仕組みの必要性もよく分かった。

#### 地域学校協働活動って これまでの活動とは 何が違いますか？



活動の内容の違いではなく、地域による学校の「支援」から地域と学校双方向の「連携・協働」へ、また「個別の活動」から活動の「総合化・ネットワーク化」を目指しています。

活動内容は、地域の実情や地域学校協働本部の発展段階に応じて様々です。子どもたちの成長にとって何が重要であるか地域で共有し、ビジョンを持つことが大切です。



#### 地域学校協働活動とは

保護者や地域の皆さん、民間企業、団体等の幅広い方々の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

- 学びによるまちづくり・地域課題解決型学習・郷土学習
- 学校に対する多様な協力活動 (登下校に関する対応・環境整備・本の読み聞かせ・授業補助や部活動支援等)
- 防災学習
- 放課後こども教室
- 地域未来塾 (学習支援・子どもの居場所)
- 登下校の挨拶

#### 地域学校協働本部ってなに？

既存の地域と学校の連携体制をもとにして、地域学校協働活動推進員(学校と地域をつなぐコーディネーター)が中心となって緩やかなネットワークを形成し、より多くの幅広い地域の人や団体等の参画によって地域学校協働活動を推進する体制です。

